

「活用案(素案)」に関する市民意見募集に寄せられた御意見と御意見に対する本市の考え方

区分について

- A 活用案に反映するもの
- B 活用案(素案)に記載済み又は趣旨に含まれ、賛同いただいているもの
- C 活用案の実現に向けて参考にするもの
- D らくなん進都を含む市南部地域のまちづくりの推進に当たって参考にするもの
- E その他、市政運営等で参考にするもの

1 活用案の策定の目的

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
1	まとまった土地の少ない京都市内において、国有地の有効活用は必要なことであり、賛成する。	14	B	<p>京都の未来を見据え、更なる経済の活性化や人口減少社会の克服など、京都の発展に向けてまちづくりを進めていくためには、市有地に限らず、国有地等の土地利用の可能性も追求することが重要であると考え、交通利便性の高い市街地にある国有地等について、魅力あるまちづくりに資する有効活用を実現しようと、国に対して、施設の移転をはじめとした有効活用の検討を要望しています。</p> <p>京都拘置所及び京都運輸支局の敷地は合わせて4.6haと広大で、地下鉄くいな橋駅及び近鉄上鳥羽口駅から徒歩5分以内で、かつ、高速道路の出入口にも近く交通至便な場所にあり、市内の都市部では確保することが難しい、非常に貴重な土地です。</p> <p>そして、その有効活用は、「らくなん進都」はもとより、京都全体の持続的な発展に大きく寄与するものと確信しており、実現に向けて、引き続き、国に粘り強く要望するなど、しっかりと取組を進めてまいります。</p>
2	将来を見据えて、様々な観点から検討することは良いことだと思う。	1	B	
3	京都のハイテクが集まるまちとして、らくなん進都が発展するためにも、国有地の有効活用は重要である。	1	B	
4	京都の発展に資する活用案全般に賛成である。	15	B	
5	京都の発展に資する活用案全般に賛成である。粘り強く国に要望して欲しい。	8	B	
6	京都拘置所と京都運輸支局の土地は、便利な場所にあるし、企業が集積している地域なのでポテンシャルは高いと思う。京都の発展に資する活用案全般に賛成である。粘り強く国に要望して欲しい。	1	B	
7	運輸支局と拘置所の有効活用は税収を上げることにつながるし、ぜひ頑張ってもらいたい。	1	B	
8	移転費用や移転先は途方もない費用になって、とてもペイできないのではないかなと思う。はるか将来にむけての提案だと思うが、応援している。がんばってもらいたい。	1	B	
9	未来の京都市のことを考えると、こういう取組もいい。国も財政難なので、新しい施設が無駄にならないよう、国と市で話をしたい。	1	B	
10	国と連携し、敷地の有効活用ができればよい。	1	B	
11	ポテンシャルの高い土地であり、企業のニーズ・関心も高いので、移転を進めてほしい。	1	B	
12	拘置所や運輸支局に移転してもらい、市民のためになる施設を作るべき。	1	B	
13	運輸支局は新しいので直ぐに移転するのは難しいと思うが、長いスパンで頑張ってもらいたいと思う。	1	B	
14	拘置所と運輸支局に移転してもらい、駅の近くにあった方が良い施設に有効活用する方がいい。	1	B	
15	鴨川の傍というイメージの良さも考えると、拘置所も運輸支局ももつと京都市にとって意義のある活用にした方がいい。	1	B	
16	京都経済界の中心といえる京都経済センターからも近く、まさに京都経済の発展のために適した土地である。	1	B	
17	「税金の無駄使い」との指摘を受けるかもしれないが、それを上回る成果を出すように取り組んでもらいたい。	1	B	
18	国に英断をしてもらえるよう、京都市にはしっかりと頑張ってもらいたい。	1	B	
19	敷地の有効活用ができればよい。経済が発展し、市が活性化し、人口増になればよい。	1	B	
20	国有地の有効活用の趣旨は理解できるが、まだ新しい拘置所、運輸支局の移転は税金の無駄遣いではないか。	1	C	
21	両施設はまだまだ建物が使える。国税はどうでもいいのか。また、この活用案は土地勘等がわかっていない人が提案しているようにしか思えない。	1	C	
22	両移設の同意がなければ、計画は税金の無駄であるので、拘置所と陸運局を移転させるのは難しいと思う。他の市政に注力してほしい。	1	C	
23	新しい建物を取り壊すのは税金の無駄遣いであるし、活用案のとおりには思えない。	1	C	
24	失政である。	1	C	
25	移転する可能性は無い。	1	C	
26	自動車に乗っている市民や自動車関連産業が不便になる政策は見直してもらいたい。	1	C	
27	四条通も、看板政策も、良い方向に出ていない。国有地の有効活用をはじめ、思いつきで都市計画をしないで欲しい。	1	C	

1 活用案の策定の目的

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
28	国有地の有効活用について、広く市民に知ってもらわなければならない。	2	B	国有地の有効活用の実現に向けては、国有地の有効活用が京都の将来のまちづくりに資する意義を、国はもとより、市民や事業者の皆様にも理解して頂く必要があると考えており、これまでから、本市ホームページや市民しんぶん等により情報発信に努めています。引き続き、しっかりと取り組んでまいります。
29	現時点で両施設の敷地活用が確定しておらず、国と話をしているところであるようなので、引き続き、国と話し合いの場を持ち、途中経過や決定したことがあれば市民に公表して欲しい。	2	B	
30	スタートアップエコシステムを京阪神で取り組もうとしているように、この活用案についても、京都だけでなく、より広域的な視点で考えてほしい。	1	B	国有地の有効活用の検討については、土地面積が一定の規模があり、立地条件が良く、その土地を活用することが、立地する地域に加え、京都や近畿の将来のまちづくりに寄与する国有地を対象に、魅力あるまちづくりに資する有効活用を実現しようと取組を進めています。 京都拘置所及び京都運輸支局の敷地は合わせて4.6haもの広大な面積で、地下鉄くいな橋駅及び近鉄上鳥羽口駅から徒歩5分以内で、かつ、高速道路の出入口にも近く交通至便な場所にあり、市内の都市部では確保することが難しい、非常に貴重な土地です。 そして、その有効活用は、「らくなん進都」はもとより、京都・近畿の持続的な発展に大きく寄与するものと考えており、実現に向けて、引き続き、国に粘り強く要望するなど、しっかりと取組を進めてまいります。
31	国の持続的な発展を目指すのであれば、国も自治体の可能性や頑張りを後押しすべきであり、京都市のチャレンジを応援すべきである。	1	B	京都拘置所及び京都運輸支局の敷地は合わせて4.6haと広大で、地下鉄くいな橋駅及び近鉄上鳥羽口駅から徒歩5分以内で、かつ、高速道路の出入口にも近く交通至便な場所にあり、市内の都市部では確保することが難しい、非常に貴重な土地です。 そして、その有効活用は、「らくなん進都」はもとより、京都全体の持続的な発展に大きく寄与するとともに、国策としての地方創生の推進にも資するものと考えています。 引き続き、実現に向けて、国に粘り強く要望するなど、しっかりと取組を進めてまいります。
32	国に働きかけるに当たっては、あらゆる機会を捉えて、らくなん進都の取組を積極的にアピールすべきである。	1	B	国への要望に当たっては、これまでから、両施設が立地している「らくなん進都」のまちづくりをアピールしており、来年度は、市民や事業者の皆様からの御意見も踏まえて策定する本活用案を提示しながら更に要望することとしています。引き続き、「らくなん進都」のまちづくりについても、しっかりとアピールしてまいります。
33	京都拘置所と京都運輸支局は市内の別の土地に移転してもらえばよい。	7	B	京都の未来を見据え、更なる経済の活性化や人口減少社会の克服など、今後の京都の発展に向けてまちづくりを進めていくためには、市有地に限らず、国有地等の土地利用の可能性も追求することが重要であると考え、交通利便性の高い市街地にある国有地等について、魅力あるまちづくりに資する有効活用を実現しようと、国に対して、施設の移転をはじめとした有効活用の検討を要望しています。
34	京都市の案に賛成する。拘置所と運輸支局は亀岡あたりに移転すればいいと思う。	1	C	国に対して移転を含めた有効活用の検討を求めていくうえでは、移転先についても、国に提示できることが理想的であると考えており、国と移転先に必要な立地条件等について意見交換を重ね、得られた条件等をもとに、市内を中心に移転先に関する情報収集を幅広く行うこととしており、そのなかで参考にさせていただきます。
35	拘置所敷地は、産業集積のほか、運輸支局の駐車場用地や市内中心部にある計量検定所の移転用地として利用すればよい。	1	C	京都の未来を見据え、更なる経済の活性化や人口減少社会の克服など、京都の発展に向けてまちづくりを進めていくためには、市有地に限らず、国有地等の土地利用の可能性も追求することが重要であると考え、交通利便性の高い市街地にある国有地等について、魅力あるまちづくりに資する有効活用を実現しようと、国に対して、施設の移転をはじめとした有効活用の検討を要望しています。 国有地の有効活用の検討を進めるなかで、参考にさせていただきます。
36	新しい建物を壊すという無駄を省きながら速やかに敷地を有効活用するために、運輸支局の敷地に拘置所を移転すればよい。	1	C	
37	京都市の考えに賛成だが、移転させられる方たちへの最大限の配慮をお願いしたい。	1	B	京都拘置所、京都運輸支局が移転する場合の移転先は、職員の皆様の生活環境なども考慮されるべきものであると考えています。

1 活用案の策定の目的

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
38	運輸支局が移転するなら、周辺の各種団体の協力を得ながら、一緒に移転するのがいい。	1	C	<p>京都拘置所は、受刑者等を収容する必要な刑事施設であり、京都運輸支局は、国の自動車行政において必要な施設であると考えています。</p> <p>本市としては、京都の未来を見据え、更なる経済の活性化や人口減少社会の克服など、京都の発展に向けてまちづくりを進めていくためには、市有地に限らず、国有地等の土地利用の可能性も追求することが重要であると考え、交通利便性の高い市街地にある国有地等について、魅力あるまちづくりに資する有効活用を実現しようと、国に対して、施設の移転をはじめとした有効活用の検討を要望しています。</p> <p>京都拘置所、京都運輸支局が移転する場合の移転先は、職員の皆様の生活環境なども考慮されるべきものであると考えています。</p> <p>また、京都運輸支局周辺に自動車関連団体の皆様が、土地や建物を所有されながら、運輸支局に関連する業務をされていることは承知しています。</p> <p>本市としては、国有地の有効活用の実現に向けて、まずは、国の姿勢が一番重要だと考えており、国にしっかりと要望してまいります。同時に、関連団体の皆様にも、丁寧に説明し、御理解を頂きながら進めていく必要があると考えており、その旨を活用案に盛り込むこととします。</p> <p>さらに、国に対して移転を含めた有効活用の検討を求めていくうえでは、移転先についても、国に提示できることが理想的であると考えており、国と移転先に必要な立地条件等について意見交換を重ね、得られた条件等をもとに、市内を中心に移転先に関する情報収集を幅広く行うなど、移転先の検討を進めてまいります。</p> <p>今後、市民や事業者の皆様からの御意見も踏まえながら活用案を策定し、来年度、これを国に提示しながら有効活用の検討を更に要望することとしています。</p> <p>頂いた御意見は、こうしたことを含めて国有地の有効活用の検討を進めていくなかで参考にさせていただきます。</p>
39	拘置所の移転は問題ないが、運輸支局は近隣に自動車関係の企業が集中しており、移転が効果的なのか懐疑的に思えるため、移転に反対する。	1	C	
40	支局に隣接した関係団体の移転についてはどう考えているのか。そこで働く職員への補助もしてもらえるのか。また、移動となれば当会並びに商工組合の施設補填も考えていただく必要がある。	1	C	
41	国有地の有効活用の趣旨は理解するが、両施設や運輸支局敷地内の関係団体が働かれている方のことや、拘置所宿舎に住まれている家族のこと、来庁者の利便性を考えるべきである。	2	C	
42	自動車関連団体はそのまま、運輸支局だけを移転してしまうと、自動車の登録手続等においてかなりの支障が出てくるので、この活用案は実行すべきではない。拘置所は移転先の治安が悪くなる可能性も考えられるので賛成しかねる。	1	C	
43	自動車会館・京都府自動車税事務所・京都府トラック会館・軽自動車検査協会・京都府整備振興会は、運輸支局が移転すれば、現在地にある意味が無くなるので、運輸支局周辺を「らくなん進都」として再開発されるのであれば、これらの施設に対しても移転要望を出さないと目的は達成されない。	1	C	
44	京都運輸支局は、多くの人が便利に利用する行政機関であり、現時点では、敷地活用の施策より優先されるべきである。移転する施設では無い。	1	C	
45	京都運輸支局はこの場所で国民の利益を守っているので移転はしなくてもいい。このままでいい。	1	C	
46	京都の車社会の安全を担ってきた運輸支局など、市の一方的な都合だけでの移転には反対である。	1	C	
47	京都市民として、将来の京都を見据えたまちづくりの検討は賛成する。しかし、京都運輸支局については、今のままの方が経済的付加価値が高いことや、築年数が浅く、建替の必要性がないこと、移転に伴う府民の利便の喪失が大き過ぎること、周辺にある関連団体の新しい施設も移転を迫られることなどを勘案すると、移転については反対である。	1	C	
48	移転をはじめとした活用案を作成するのであれば、移転先を示すべきである。	2	C	
49	移転が決まってから活用案を検討すればよい。	1	C	
50	両施設の移転先が明記されておらず、冊子からは敷地活用案を作る意味が伝わらない。	1	C	
51	移転先の提案と誰が予算を負担するのかなど、実現可能性の検討が不足している。庁舎が建替時期に無く、運輸支局が移転すると、周辺の関連団体の利便性が損なわれる。	1	C	

1 活用案の策定の目的

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
52	京都運輸支局を移転することは、京都府民全体に不便を強いることになるため、断固反対である。 両施設の間には民間企業用地があり、一体的な有効活用ができない。京都運輸支局近辺は、関係団体等が集積しており、移転すると関係団体の業務に多大な影響が出るため、好ましくない。	1	C	京都拘置所、京都運輸支局が移転する場合の移転先は、施設利用者や関連団体の皆様の業務上の利便性、職員の皆様の生活環境なども考慮されるべきものであると考えています。 京都の未来を見据え、更なる経済の活性化や人口減少社会の克服など、京都の発展に向けてまちづくりを進めていくためには、市有地に限らず、国有地等の土地利用の可能性も追求することが重要であると考え、交通利便性の高い市街地にある国有地等について、魅力あるまちづくりに資する有効活用を実現しようと取組を進めています。 京都拘置所及び京都運輸支局の敷地は合わせて4.6haと広大で、地下鉄くいな橋駅及び近鉄上鳥羽口駅から徒歩5分以内で、かつ、高速道路の出入口にも近く交通至便な場所にあり、市内の都市部では確保することが難しい、非常に貴重な土地です。 そして、その有効活用は、「らくなん進都」はもとより、京都全体の持続的な発展に大きく寄与するものと確信しており、国に施設の移転をはじめとした有効活用の検討を要望しています。 今後、国有地の有効活用の検討を進めるなかで参考にさせていただきます。
53	スタートアップ・エコシステム拠点都市になってほしい。そうなると起業が進み、らくなん進都の価値が高まり、両敷地のニーズも一層高まると考える。	1	B	国が進めている「スタートアップ・エコシステム拠点都市」の形成については、本市を含めたオール京都で「京都スタートアップ・エコシステム推進協議会」を設立するなど、拠点都市の選定に向けた取組を積極的に進めています。 京都拘置所、京都運輸支局は合わせて4.6haと広大で、地下鉄くいな橋駅及び近鉄上鳥羽口駅から徒歩5分以内という交通至便な場所にあり、両施設の敷地は、今日では市内の都市部では確保することが難しい、非常に貴重な土地です。その有効活用は、「らくなん進都」はもとより、京都全体の持続的な発展に大きく寄与するものであると確信しており、引き続き、国有地の有効活用の実現に向けて、粘り強く国に要望するなど、しっかりと取り組んでまいります。
54	国有地だけでなく、京都府の土地も利用すればよいと思う。	1	C	京都の未来を見据え、更なる経済の活性化や人口減少社会の克服など、京都の発展に向けてまちづくりを進めていくためには、市有地に限らず、国有地等の土地利用の可能性も追求することが重要であると考えています。
55	京都拘置所、京都運輸支局の敷地活用に取り組むよりも、両施設敷地より高速道路が便利で広大な土地がある向島の開発にシフトするべきである。	1	C	このような考えから、現在、交通利便性の高い市街地にある京都刑務所、京都拘置所及び京都運輸支局を対象に、国に施設の移転をはじめとした有効活用の検討を要望するなどの取組を進めています。今後、国有地等の有効活用の検討を進めるなかで参考にさせていただきます。
56	将来の京都のことを本当に考えなければならないと思うが、現在可動している役所を移転させるのは経費も時間もかかると思うので、まずは、すぐに転用できる京都市立芸術大学の跡地や多くの廃校小学校などを利用すべきである。また、洪水の心配がない土地を選ぶべきである。「らくなん進都」の候補地は反対する。	1	C	京都の未来を見据え、更なる経済の活性化や人口減少社会の克服など、京都の発展に向けてまちづくりを進めていくためには、市有地に限らず、国有地等の土地利用の可能性も追求することが重要であると考えています。
57	立地の良さで言うと、京都市役所の場所の方がいいと思うので、このような計画を京都市が本気で考えるのなら、市役所を移転させるのが一番いい。	1	C	本市では、地域の一層の活性化や魅力向上のため、施設の統廃合等により生み出された市有地の有効活用を進めています。 国有地の有効活用の検討については、土地面積が一定の規模があり、立地条件が良く、その土地を活用することが、立地する地域に加え、京都や近畿の将来のまちづくりに寄与する国有地を対象に、魅力あるまちづくりに資する有効活用を実現しようと取組を進めています。 このような考えから、現在、京都刑務所、京都拘置所及び京都運輸支局を対象に国に施設の移転をはじめとした有効活用の検討を要望していますが、今後、国有地等の有効活用の検討を進めるうえで参考にさせていただきます。
58	拘置所、運輸支局はもちろんのこと、京都御苑も活用させてもらえたらいいと思う。御所はそのままにしておいてほしい。	1	C	国有地の有効活用の検討については、土地面積が一定の規模があり、立地条件が良く、その土地を活用することが、立地する地域に加え、京都や近畿の将来のまちづくりに寄与する国有地を対象に、将来のまちづくりに資する有効活用の検討を進めています。 このような考えから、現在、交通利便性の高い市街地にある京都拘置所及び京都運輸支局、京都刑務所を対象に国に施設の移転をはじめとした有効活用の検討を要望するなど、取組を進めています。 頂いた御意見は、今後、国有地等の有効活用の検討を進めるなかで参考にさせていただきます。
59	国有地の有効活用だけでなく、市民の土地、空き家も有効に活用したらよい。	1	E	空き家の増加は課題であると考えており、関係部署と連携し、引き続き、空き家対策に取り組むなど、市政運営において参考にさせていただきます。
60	予算がどれだけ掛かるかが明言されておらず、大規模開発をすれば良いというものではない。運輸支局は建替移設は検討していないと明言しており見通しが無いように思う。拘置所もどこにでも移転できるものではない。	1	C	京都拘置所、京都運輸支局の敷地の有効活用に当たっては、敷地のポテンシャルを最大限に活かすため、民間による知恵と工夫を活かしながら活用することが望ましいと考えており、民間による活用を基本としています。本市の費用負担は想定していません。 また、国に対して移転を含めた有効活用の検討を求めていくうえでは、移転先についても、国に提示できることが理想的であると考えており、国と移転先に必要な立地条件等について意見交換を重ね、得られた条件等をもとに、市内を中心に移転先に関する情報収集を幅広く行うなど、移転先の検討を進めてまいります。 引き続き、実現に向けて、国に粘り強く要望するなど、しっかりと取組を進めていくなかで参考にさせていただきます。
61	費用や経済効果も分からず、代替地もないのに無責任である。敷地活用を考えるより、低下している行政サービス回復に力を入れるべき。	1	C	京都の未来を見据え、更なる経済の活性化や人口減少社会の克服など、京都の発展に向けてまちづくりを進めていくためには、市有地に限らず、国有地等の土地利用の可能性も追求することが重要であると考えています。

2 らくなん進都のまちづくりの状況

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
62	「らくなん進都」の発展のため、スタートアップエコシステムとこの敷地活用案は並行して進めてほしい。	1	B	国が進めている「スタートアップ・エコシステム拠点都市」の形成については、本市を含めたオール京都で「京都スタートアップ・エコシステム推進協議会」を設立するなど、拠点都市の選定に向けた取組を積極的に進めており、国有地の有効活用の実現に向けた取組と並行して進めてまいります。
63	「らくなん進都」は、限られた市域の中で、着実に企業集積が進んでいると思う。	1	B	「らくなん進都」では、新しい京都を発信するものづくり拠点を目指し、企業集積の促進をはじめとしたまちづくりを進めており、引き続き、しっかりと取り組んでまいります。
64	「らくなん進都」には、従来型のものづくり産業だけでなく、これからのものづくり産業のありようを示す企業集積が必要である。	1	D	
65	「らくなん進都」の油小路沿道にもっとオフィスが集まってほしい。働く場所が増えると人口も増えて京都がもっと生き生きする。	1	B	
66	京都駅以南は高さや容積率、景観の制限をもっと緩和したほうがよい。	3	D	本市では、都市の活力や利便性の向上が、持続可能な都市を構築するうえで重要であるとの認識のもと、令和元年12月に、道路等の基盤整備状況を踏まえ、各地域の将来像に応じた土地利用を誘導するため、用途地域や容積率、高度地区等の見直しを行いました。今後も、都市計画マスタープラン等に掲げた都市の将来像の実現に向け、地域の特性に応じた適時適切な都市計画の見直しを検討してまいります。 なお、京都拘置所及び京都運輸支局を含むらくなん進都では、景観の規制につきましては、屋外広告物等に関する規制はありますが、建物に関する景観規制は行っておりません。また、容積率の制限につきましては、ものづくり産業の集積と働きやすい都市環境の向上を図ることを目的として、同地域に立地がふさわしい工場、研究施設、事務所の容積率を割り増してあります。
67	「らくなん進都」という言葉を初めて聞いた。	6	D	「らくなん進都」では、住民、企業、大学、経済団体、行政機関等のパートナーシップによるまちづくりを進めるために「らくなん進都整備推進協議会」を設立し、まちづくりを進めるうえでの課題解決に向けた取組の議論や、「らくなん進都」の認知度や地区イメージの向上に向けたホームページやイベントでの情報発信に努めています。引き続き、しっかりと取り組んでまいります。
68	京都駅南部のイメージを向上させるまちづくりを進めてほしい。	1	D	
69	京都南部地域は京都の玄関口であり、この地域の発展無しで、京都のまちづくりの進展はないが、この地域の開発は進んでいない。南北の鉄道はあるが、東西の公共交通が不便なので、公共交通の充実が必要である。	4	D	「らくなん進都」では、新しい京都を発信するものづくり拠点を目指し、「らくなん進都まちづくりプログラム」等に基づき、京都らくなんエクスプレス(R'EX)の運行や自転車走行環境の整備など、都市機能を誘導する公共交通環境の向上に向けた取組も進めています。今後も、交通利便性向上に向けた検討を重ねてまいります。
70	京都南部地域は京都の玄関口であり、この地域の発展無しで、京都のまちづくりの進展はないが、この地域の開発は進んでいない。南部地域の京都市保留地を有効活用し、企業の誘致を進めて欲しい。	2	D	「らくなん進都」では、新しい京都を発信するものづくり拠点を目指し、企業集積の促進をはじめとしたまちづくりを進めており、引き続き、しっかりと取り組んでまいります。
71	淀地域を「らくなん進都」区域に入れ、土地活用と地下鉄延伸を考えるべきである。	1	D	
72	「らくなん進都」のまちづくりは不要だ。	1	D	
73	「らくなん進都」をものづくり拠点、産業集積ゾーンと言う一方で、住居系市街ゾーンが含まれている。竹田駅周辺は商業施設を集積と言っているが商業施設はない。産業集積ゾーンと言いつつ、油小路や国道1号線沿線は生産、研究拠点とは名ばかりの風景である。	1	D	「らくなん進都」は新しい京都を発信するものづくり拠点の実現に向け、「らくなん進都まちづくり推進プログラム」において、地域の歴史遺産や自然、住環境等に配慮しつつ、ものづくり企業の本社、研究開発、生産機能を集積することを基本とし、産業集積ゾーンや住居系市街地ゾーン等の土地利用を区分しています。
74	産業集積ゾーンが広すぎるので、住居系市街地ゾーンを広げるべきである。	1	D	本プログラムは、住民、企業、大学、経済団体、行政機関等で構成する委員会で議論するとともに、市民意見募集を行い、広く市民・事業者の皆様の御意見をお聞きしながら策定したものです。引き続き、本プログラムに基づき、「らくなん進都」のまちづくりをしっかりと進めてまいります。
75	「らくなん進都」の産業集積ゾーンが広過ぎるため、住居系市街地ゾーンを広げるべきである。	1	D	
76	「らくなん進都」のまちづくりは、伏見ルネッサンスプランと連動したまちづくりを進めて欲しい。	2	D	「伏見ルネッサンスプラン」とも連携しながら、「らくなん進都」のまちづくりを進めてまいります。

3 両施設敷地の活用案(活用の方向性・導入機能・施設の展開例)

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
77	素晴らしい案だと感じます。黎明期の企業が活躍できるような場所になって欲しい。	1	B	京都の未来を見据え、更なる経済の活性化や人口減少社会の克服など、京都の発展に向けてまちづくりを進めていくためには、市有地に限らず、国有地等の土地利用の可能性も追求することが重要であると考え、交通便利性の高い市街地にある国有地等について、魅力あるまちづくりに資する有効活用を実現しようと、国に対して、施設の移転をはじめとした有効活用の検討を要望しています。京都拘置所及び京都運輸支局の敷地を活用して企業集積をより一層促進し、「らくなん進都」はもとより、京都全体の発展に繋がるよう、引き続き、国に粘り強く要望するなど、実現に向けた取組をしっかりと進めてまいります。
78	経済の活性化が必要であり、活用案に賛成する。	1	B	
79	敷地には京都の発展に役立つ施設を建ててほしい。	1	B	
80	産業用地としての活用を期待する。	3	B	
81	交通至便な場所であり、産業用地として有効活用を進めてほしい。	3	B	
82	産業集積地として、関西をリードするような場所になってほしい。	1	B	
83	ものづくり企業のための活用を期待する。	8	B	
84	製造業や商業といった実業への支援が必要。そのための活用案であり、良いと思う。	3	B	
85	職人の多い京都だからこそできるものづくりがあると思うので、敷地は、そうした京都の強みをより活かせる機能を持たせてほしい。	1	B	
86	コワーキングスペースで仕事をする人ではなく、個人事業主を増やすことが大事であり、SDGsを実現する企業・事業者の集積となることを期待する。	1	B	
87	この敷地でベンチャー支援に力を入れ、かつてのベンチャーの都を復活させてほしい。	1	B	
88	村田機械・任天堂のIT企業があるので、京都のシリコンバレーのようなコンセプトを目指すのがいい。	1	B	
89	京都市はもちろん、関西、我が国の価値向上へ資するよう、広く国内外から知性が集まる場になってほしい。	1	B	
90	人が多く集まるオフィスとして活用してほしい。	1	B	
91	市内の便利なところにもっとオフィスを増やした方がいい。	1	B	
92	働く場所の確保につながるオフィスやテナントビルができればよい。	2	B	
93	法人税を多く収める企業を誘致してほしい。	2	B	
94	ベンチャー企業から大企業までいろんな企業を誘致してほしい。	1	B	
95	企業集積が進むと、従業員が増え、飲食業等の業種も増え、より魅力的なまちになるので、企業集積につながる施設を作してほしい。	1	B	
96	企業や工場を誘致すべき。	1	B	
97	企業集積を進め、企業団地を作ってはどうか。	2	B	
98	大企業が中小企業の景気を引っ張るので、大企業の企業立地を促進してほしい。らくなん進都の価値を高めるものを作ってもらえれば、企業立地が進むと思う。	2	B	
99	「世界に冠たる観光地」ではなく「世界に冠たるスマートシティ」を目指してほしい。今回の活用案に期待している。	1	C	
100	地域のシンボルになるような活用をして欲しい。	4	B	4. 6haもの広大な京都拘置所及び京都運輸支局の敷地活用に当たっては、「らくなん進都」のイメージを発信するシンボリックな企業の誘致など、「らくなん進都」の認知度を高め、まちづくりを加速させるための複数の機能・施設を導入することが望ましいと考えています。引き続き、国に粘り強く要望するなど、実現に向けた取組をしっかりと進めてまいります。
101	有効活用が実現するのであれば、別のネーミングをして海外にアピールするのはどうか。	1	C	
102	らくなん進都のブランドイメージを高める活用をして欲しい。	3	B	
103	交通至便な場所であり、伏見・京都のシンボルとなるような有効活用を進めてほしい。	2	B	
104	伏見の発展に資する活用案全般に賛成である。	2	B	京都拘置所及び京都運輸支局の敷地を活用して企業集積をより一層促進し、両施設がある地元・伏見や「らくなん進都」はもとより、京都全体の発展に繋がるよう、引き続き、国に粘り強く要望するなど、実現に向けた取組をしっかりと進めてまいります。
105	伏見が活性化する施設を希望する。	5	B	
106	伏見の歴史やお酒、商店街など、魅力を活かして活性化する施設が出来て欲しい。	2	B	

3 両施設敷地の活用案(活用の方向性・導入機能・施設の展開例)

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
107	優秀な学生が京都に残ってもらえるような起業家が集積するエリアになるとよい。	2	B	京都拘置所及び京都運輸支局の敷地を活用して企業集積をより一層促進し、京都の大きな強みである大学の知を活かすことで、「らくなん進都」はもとより、京都全体の発展に繋がるよう、引き続き、国に粘り強く要望するなど、実現に向けた取組をしっかりと進めてまいります。
108	京都には、最先端の研究をしている京大や工繊大などの優秀な大学があり、素晴らしいものづくり企業の創業者もいる。そのあたりをもっと協調し、京都の産業力が上がるようにして欲しい。	1	B	
109	大学や先端企業と連携するべきである。	3	B	
110	京都大学と連携し、バイオ分野の産業振興につながる施設を作ればよい。	1	B	
111	大学が多く立地する京都のなかでも、京都駅に近い当該敷地で、ぜひイノベーションを起こす施設整備を実現してほしい。	1	B	
112	京都の学生が京都で就職できるよう雇用を生み出す場所になるとよい。	3	B	
113	誘致候補施設の中で最もお金を生み出すのがどれかはわからないが、その視点で選んでほしい。	1	C	京都の未来を見据え、更なる経済の活性化や人口減少社会の克服など、京都の発展に向けてまちづくりを進めていくためには、市有地に限らず、国有地等の土地利用の可能性も追求することが重要であると考え、交通利便性の高い市街地にある国有地等について、魅力あるまちづくりに資する有効活用を実現しようと、国に対して、施設の移転をはじめとした有効活用の検討を要望しています。今後、国に粘り強く要望するなど、実現に向けた取組をしっかりと進めていくなかで参考にさせていただきます。
114	経済力のある都市であることは、人口が減少していくなかで更に重要性が増してくるので、今、徹底的に先行投資をして経済力のある都市を作してほしい。らくなん進都の補助金ももっと上げるべきだし、両敷地の有効活用も民間による活用を基本としながら京都市もしっかりとお金を出してよいものを作ってほしい。	1	C	
115	活用案に賛同するが、魅力あるまちづくりのためには、まちづくり全体においてリーダーシップを発揮できる強力な企業にフォーカスして誘致活動を行い、当企業を軸にエネルギー、モビリティなどでスマートシティを目指し、まち全体の価値を向上させることも有効である。	1	C	
116	京都市も財政難なので、民間による活用を基本とする案に賛成する。	1	B	京都拘置所、京都運輸支局の敷地の有効活用にあたっては、敷地のポテンシャルを最大限に活かすため、民間による知恵と工夫を活かしながら活用することが望ましいと考えており、民間による活用を基本としています。
117	運輸支局の敷地に、運輸支局や関連団体、産業・商業スペースが入居する広大な施設を京都市の負担で建設してはどうか。	1	C	京都拘置所、京都運輸支局の敷地は合わせて4.6haと広大で、地下鉄くいな橋駅及び近鉄上烏羽口駅から徒歩5分以内という交通至便な場所にあり、今日では市内の都市部では確保することが難しい、非常に貴重な土地です。その有効活用は、「らくなん進都」はもとより、京都全体の持続的な発展に大きく寄与するものであると確信し、国に施設の移転をはじめとした有効活用の検討を要望しています。 また、京都拘置所、京都運輸支局の敷地の有効活用にあたっては、敷地のポテンシャルを最大限に活かすため、民間による知恵と工夫を活かしながら活用することが望ましいと考えており、民間による活用を基本としています。本市の費用負担は想定していません。今後、国に粘り強く要望するなど、実現に向けた取組をしっかりと進めていくなかで参考にさせていただきます。
118	高さ制限がないことや、緩和されている容積率をフル活用し、企業集積を進めるべきである。	4	B	京都拘置所及び京都運輸支局を含む周辺地域では、企業集積を促進するために、工場、研究施設、事務所を建築する場合に容積率を上乘せしており、また、高さ規制も設けていません。さらに、一定の要件を満たし、国の認定を受けた研究所や事務所を建築する場合には、国の金融支援や税制優遇を受けることができるなど、企業立地に魅力的な制度等を活用できます。 こうした制度等も活かしながら、両施設の敷地を活用して企業集積をより一層促進し、「らくなん進都」はもとより、京都全体の発展に繋がるよう、国に粘り強く要望するなど、実現に向けた取組をしっかりと進めてまいります。
119	高さ制限がないことや、緩和されている容積率を活用して、京都拘置所や京都運輸支局を高層化し産業用地を創出してもらいたい。京都市の案に賛成する。	2	C	京都の発展に向けてまちづくりを進めていくためには、市有地に限らず、国有地等の土地利用の可能性も追求することが重要であると考え、交通利便性の高い市街地にある国有地等について、魅力あるまちづくりに資する有効活用を実現しようと、国に対して、施設の移転をはじめとした有効活用の検討を要望しています。 京都拘置所、京都運輸支局は合わせて4.6haもの広大な土地を有し、地下鉄くいな橋駅及び近鉄上烏羽口駅から徒歩5分以内という交通至便な場所にあり、両施設の敷地は、今日では市内の都市部では確保することが難しい、非常に貴重な土地です。 両施設の敷地を活用して企業集積をより一層促進し、「らくなん進都」はもとより、京都全体の発展に繋がるよう、国に粘り強く要望するなど、実現に向けた取組をしっかりと進めていくなかで参考にさせていただきます。
120	新しい施設は、失敗するので要らない。現状が良い。軽自動車の納税証明があげられれば、さらに良い。	1	C	京都の発展に向けてまちづくりを進めていくためには、市有地に限らず、国有地等の土地利用の可能性も追求することが重要であると考え、交通利便性の高い市街地にある国有地等について、魅力あるまちづくりに資する有効活用を実現しようと、国に対して、施設の移転をはじめとした有効活用の検討を要望しています。
121	両施設の敷地は、新たなイノベーションを起こすための土地としては余り広くないと思う。	1	C	京都拘置所、京都運輸支局は合わせて4.6haもの広大な土地を有し、地下鉄くいな橋駅及び近鉄上烏羽口駅から徒歩5分以内という交通至便な場所にあり、両施設の敷地は、今日では市内の都市部では確保することが難しい、非常に貴重な土地です。 両施設の敷地を活用して企業集積をより一層促進し、「らくなん進都」はもとより、京都全体の発展に繋がるよう、国に粘り強く要望するなど、実現に向けた取組をしっかりと進めていくなかで参考にさせていただきます。
122	京都市の活用案の可能性は無く、自動車関連産業が衰退し税収が下がる。陸運支局の利便性向上につながる活用を考えてほしい。	1	C	京都の発展に向けてまちづくりを進めていくためには、市有地に限らず、国有地等の土地利用の可能性も追求することが重要であると考え、交通利便性の高い市街地にある国有地等について、魅力あるまちづくりに資する有効活用を実現しようと、国に対して、施設の移転をはじめとした有効活用の検討を要望しています。

3 両施設敷地の活用案(活用の方向性・導入機能・施設の展開例)

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
123	融資が受けられるよう、金融機関を施設内に誘致して欲しい。	1	B	4. 6haもの広大な京都拘置所及び京都運輸支局の敷地活用に当たっては、ものづくり企業の事業拡大の受け皿となる機能や企業のイノベーションによる成長をサポートする機能など、「らくなん進都」の認知度を高め、まちづくりを加速させるための複数の機能・施設を導入することが望ましいと考えています。 具体的な誘致候補施設としては、融資などの支援を受けられるインキュベーション施設などを想定しています。 引き続き、国に粘り強く要望するなど、実現に向けた取組をしっかりと進めてまいります。
124	国や自治体、金融機関などからの支援が受けられ、入居できる施設を誘致して欲しい。	1	B	
125	職人マインドが脈々と受け継がれている京都のものづくり産業が世界に打って出るための支援を行う施設を期待する。	1	B	
126	起業しやすい環境が整っていない。起業環境の充実を望む。	1	B	
127	起業希望者や企業の成長をサポートする施設ができればよい。	5	B	
128	ものづくり分野やAI等のスタートアップ企業と中小企業の事業を支援するために、クラウドファンディング等の手法で、企業と市民が応援できる仕組みを作してほしい。	1	B	
129	京都大学出身の起業家は多く、東京に営業やネットワーク機能を置いてはいるが、企画や開発部門は京都に置きたいという企業も多くあると思うので、敷地には企画や開発部門の人たちが集まり、新たなイノベーションにつながる施設を作してほしい。	1	B	
130	外資系企業や京都の企業が複数でベンチャー企業をサポートするようなインキュベーション施設を整備し、我が国の新産業創出(AI, デジタルとアートの融合, ライフサイエンス, 新素材)をリードする地域にして欲しい。	1	B	
131	京都のポテンシャルを活かし、首都圏に負けないような、最先端の知識・技術を持つエンジニアなどが集まる研究開発拠点を国や民間と連携して整備してもらいたい。	1	B	
132	中小企業同士で行う共同研究を支援するような機能があればよいと思う。	1	B	
133	ノーベル賞の受賞研究者や世界的に有名な技術者が京都に滞在しながら、国内の研究者との共同研究や交流ができるような施設を併設した研究施設があればいい。	1	B	
134	海外での京都人気を活かして、滞在型の施設を併設した国の研究施設を誘致してはどうか。	1	B	
135	ものづくり企業の合同企業説明会をしてほしい。そのような会場にも使える場所にしてほしい。	1	B	
136	敷地には子供たちがものづくりに興味を持てる夢のある施設を作してほしい。	1	B	
137	伏見区ならではの清酒に特化した研究施設ができれば面白いと思う。	1	B	
138	働き方改革やワークライフバランスの推進など、考え方や制度が変わっても、人々が生活に求めるクオリティが低くなることはないので、それらを実現する新たな技術が必要となる。その技術を研究開発する施設ができるのなら応援したい。	1	B	
139	計量や試作が安価でできる機能があればよい。	2	B	
140	プロトタイプ製造や異業種交流が進むワーキングスペースができればよい。	3	B	
141	災害発生時の避難場所、救援物資の備蓄倉庫など、地域の安心・安全に寄与する防災機能が必要である。	3	B	
142	遊水地の役割をもった施設を整備したらよいと思う。	1	C	



3 両施設敷地の活用案(活用の方向性・導入機能・施設の展開例)

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
143	近年の産業のスピードは速く、移転が決まった時点で誘致候補施設が古いことも考えられるので、移転が決まった時点で再度誘致候補施設を検討してほしい。	1	A	4. 6haもの広大な京都拘置所及び京都運輸支局の敷地活用に当たっては、ものづくり企業の事業拡大の受け皿となる機能や企業のイノベーションによる成長をサポートする機能など、「らくなん進都」の認知度を高め、まちづくりを加速させるための複数の機能・施設を導入することが望ましいと考えています。本活用案に掲げる「活用案の方向性・導入機能」や「誘致候補施設」は、「らくなん進都」での企業集積をより一層促進し、まちづくりを加速させるために、現時点で導入することが望ましいと考えられる想定例であり、今後、有効活用が具体化する時点で、新技術の開発状況や企業ニーズの変化などに応じて見直すことが望ましいと考えられることから、その旨を活用案に盛り込むこととします。
144	活用案を複数組み合わせ、相乗効果を生んでもらいたい。	1	B	4. 6haもの広大な京都拘置所及び京都運輸支局の敷地活用に当たっては、ものづくり企業の事業拡大の受け皿となる機能など、「らくなん進都」の認知度を高め、まちづくりを加速させるための複数の機能・施設を導入することが望ましいと考えています。
145	京都商工会議所会頭が長年取り組んで来られている「知恵産業」の方向性に沿った計画でいい。	1	B	引き続き、国に粘り強く要望するなど、実現に向けた取組をしっかりと進めてまいります。
146	中小企業にとってもメリットのある活用をしてほしい。	2	B	4. 6haもの広大な京都拘置所及び京都運輸支局の敷地活用に当たっては、ものづくり企業の事業拡大の受け皿となる機能など、「らくなん進都」の認知度を高め、まちづくりを加速させるための複数の機能・施設を導入することが望ましいと考えています。活用案(素案)に具体的な誘致候補施設の想定例を記載していますが、大企業だけでなく、これから起業する方や中小企業をはじめとする地域企業の皆様にも広くメリットを享受していただけることが必要であると考えています。
147	京都のみならず、関西一円の中小企業の新事業・技術開発、ひいては市場化を支援する場となってほしい。	1	B	引き続き、国に粘り強く要望するなど、実現に向けた取組をしっかりと進めてまいります。
148	人材育成やウェブサイトでの情報発信などのソフト機能の導入は多くの人にとってよいことである。	1	B	4. 6haもの広大な京都拘置所及び京都運輸支局の敷地活用に当たっては、「らくなん進都」の認知度を高め、まちづくりを加速させるために導入することが望ましいと考える4つの機能に加えて、ソフト機能として高度な人材育成機能や多言語サイトによる情報発信機能等を導入することが望ましいと考えています。引き続き、国に粘り強く要望するなど、実現に向けた取組をしっかりと進めてまいります。
149	時代変化に応じ、機能更新のできる活用方法も視野に入れてほしい。	1	C	4. 6haもの広大な京都拘置所及び京都運輸支局の敷地活用に当たっては、ものづくり企業の事業拡大の受け皿となる機能や企業のイノベーションによる成長をサポートする機能など、「らくなん進都」の認知度を高め、まちづくりを加速させるための複数の機能・施設を導入することが望ましいと考えています。
150	拘置所と民間施設とを合築してもいいと思う。周辺がにぎわう飲食店ができればよい。	2	C	引き続き、国に粘り強く要望するなど、実現に向けた取組をしっかりと進めていくなかで参考にさせていただきます。
151	人が多く集まる商業施設として活用して欲しい。	2	C	
152	活用案にある誘致候補施設に加えて、日々の企業活動を支援する施設(飲食・商業施設、データセンター、物流機能等)や、ワーカーの環境向上につながる公園等のオープンスペース・ウォーキングコース等も必要である。	1	C	
153	研究者は車通勤の方が多く、商業施設でなく、研究所の誘致は、車通勤の方が多く、公共交通機関の利用を促進している京都市の方針と離れるのではないか。	1	C	
154	拘置所と運輸支局の敷地では、地域がより活性化するような施設や公共交通機関の整備を進めてほしい。	1	C	
155	住宅地としての活用を期待する。	5	C	
156	宿泊施設としての活用を期待する。	2	C	
157	京大防災研究所を拡大発展させ、関連する施設の導入を図り、世界的に有名な都市になってほしい。	1	C	
158	自社で利用したい。	1	C	
159	周りに住む人が自由に遊べる広場とかを備えた施設がいい。ロームのように、街路樹があり、イルミネーションをしてくれる企業が入ったら、地域が明るくなる。	1	C	
160	一般的な企業のニーズに合わせて小割にするのではなく、敷地を一体的に活用する企業に活用させる、あるいは、敷地全体のマスタープランを描いたうえで小割にするなどで活用すべきである。	1	C	
161	若者にとっても魅力的な施設として、スポーツやアミューズメントも考えて欲しい。	1	C	
162	任天堂も近いので、ポケモンセンターを作ってほしい。	1	C	
163	新たな観光の拠点として整備してはどうか。	1	C	
164	「本格的なパークアンドライド」の拠点として整備してはどうか。富裕層をターゲットにヘリポートを設置しても良い。	1	C	
165	ヘリポート、ドローン基地を整備して欲しい。	1	C	
166	この土地は南部には珍しく、駅に至近であるため、バスターミナルを作りたい。1階だけでも市バスの車庫にして、その上を高層オフィスにする。	1	C	

3 両施設敷地の活用案(活用の方向性・導入機能・施設の展開例)

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
167	京都駅に近い貴重な土地であり、ぜひリニアを呼び込んで、駅にしてほしい。	1	C	今後、京都府、経済界等と連携したりニア京都誘致に係る活動の中で、参考にさせていただきます。
168	老人ホームをつくるべきである。	2	C	市内の特別養護老人ホームの整備状況は「第7期京都市民長寿すこやかプラン」の最終年度である令和2年度末において104施設6,644人分の整備を完了予定であり、「第7期京都市民長寿すこやかプラン」における整備目標数6,717人に対して98.9%と概ね順調に推移しております。 いただいた御意見を参考にしながら、今後とも、特別養護老人ホームをはじめ入所系サービスの整備を着実に推進するとともに、できる限り住み慣れた地域での在宅生活が維持できるよう、在宅系サービスの充実にも注力し、入所系・在宅系サービスの両面から高齢者の生活を支援してまいります。
169	主管省庁が異なるので、段階的な活用も想定したほうがよい。	2	A	京都拘置所及び京都運輸支局については、管轄省庁や整備時期が異なっており、国との協議状況によっては、敷地の有効活用が段階的になることも想定されることから、その旨を活用案に盛り込むこととします。
170	京都拘置所と京都運輸支局の敷地を活用するには、道路や公共交通機関といった交通インフラの整備が必要である。	3	C	京都拘置所及び京都運輸支局の敷地の活用にあたっては、活用する施設の内容や規模等に応じて周辺道路等の交通基盤のあり方等についても、慎重に検討する必要があると考えています。
171	民間が施設を作る際には、京都市内の業者を使わせるようにしてほしい。	1	C	京都拘置所、京都運輸支局の敷地の有効活用にあたっては、敷地のポテンシャルを最大限に活かすため、民間による知恵と工夫を活かしながら活用することが望ましいと考えており、民間による活用を基本としています。 本市では、京都市公契約基本条例において、地域経済の活性化及び雇用の創出等のためには、市内中小企業の持続的な発展が不可欠であることに鑑み、本市が行う工事や物品の調達等は、政府調達に関する協定の対象となる契約や、高度な技術を要する契約など特別な事情がある場合を除いて、市内中小企業に発注するよう努めることとしています。また、市内中小企業に限定した発注が困難な場合であっても、共同企業体方式や分離分割発注を活用して、市内中小企業の受注機会の増大に努めることとしています。 こうしたことから、両施設の敷地の有効活用にあたっては、できる限り市内企業の受注機会が増えるよう、国等に働きかけてまいります。

## 4 その他

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
172	市民意見募集のパンフレットの設問において、活用の方向性と活用案に対する意見はほぼ同じ内容となるため、国に要望するうえで有益な材料が集まるよう、このエリアに対して期待することを漠然と書いてもらう方が良いのではないか。	1	E	御意見を参考にして、引き続き、分かりやすい市民意見募集に努めてまいります。
173	京都は古くから伝統産業が栄えた職人のまちで、まちに根付いた職人のDNAが京都の強みである。その京都だからできる先端技術に対する支援を粘り強く行ってほしい。	1	E	産業振興施策を進めるなかで、参考にさせていただきます。
174	企業やその従業員も地域の景気を担う重要な役割である。市民や観光客ばかりではなく、企業もしっかり支援してもらいたい。	1	E	
175	京都は高付加価値の産業が強く、そうした利益率の高い製造業をしっかり支援することが必要である。	1	E	
176	中小製造業は、準工業地域であっても後発の住宅に気を使い、景観条例や道幅制限で開発もままならず、窮屈な事業を強いられている。他県に出るにも資金がない。イノベーションに直結しそうな先端産業は優遇されているが、それを下支えしている中小製造業が、次世代に希望をもてるような特区にしてもらいたい。例えば、①建設規制緩和、②資金援助、③通勤者向けガレージや福利の共同施設、④運送の共同基地などである。	1	E	
177	救うべきはWORKをするLINE中小企業である。加工業を救って欲しい。下位の81%の企業と人間を救ってほしい。	1	E	「京都市地域企業の持続的発展の推進に関する条例」に基づき、中小企業・地域企業の様々な支援策を進めており、そのなかで参考にさせていただきます。
178	観光地周辺の景観保全是理解できるが、市内全域に高さ規制のない地域を増やしていくべき。	2	E	京都の美しい景観は公共の財産であり、50年後、100年後も京都が京都であり続けるために、建物の高さやデザインに関する規制や看板等の屋外広告物対策など様々な景観政策を実施しています。特に建築物の高さは都市全体の景観形成に大きな影響を及ぼすため、京都の盆地の風土や山並みとの調和に配慮し、地域の特性に応じた高さ規制を実施しています。 なお、京都拘置所及び京都運輸支局を含むらくなん進都では高さ規制を実施していない地区もあります。
179	深泥池を埋立て土地を作ったらいいと思う。	1	E	深泥池には貴重な水生生物が生息し、国の天然記念物に指定されているため、文化財保護法に基づき今後も文化財として保護に努めます。
180	駅の北側も土地が空いているので、そちらを活用すれば良い。	1	E	市政運営において参考にさせていただきます。
181	中島書から北大路迄、地下鉄堀川線を建設する。	1	E	
182	京都は日本の歴史文化の中心であり、本当に必要なもの以外は京都にはいらない。	1	E	
183	この計画よりも、洛西地域の振興政策の方がはるかに重要であるように思う。洛西地域に地下鉄を延伸し利便性を高め、企業集積地にした方が寛容である。	1	E	洛西地域では、区民と行政の協働により、区の個性を活かしながら、区の更なる発展と魅力あるまちづくりに取り組んでおります。いただいた御意見は、参考にさせていただきます。